

2023 年第 4 回 ABAC (サンフランシスコ) 会議【仮訳】

2023 年 11 月 14 日  
サンフランシスコ、米国

**アジア太平洋地域のビジネス界代表は、公平・持続可能性・貿易における  
グローバルな課題に取り組むために協調して行動する**

今週、APEC 首脳会議や APEC CEO サミットに合わせて、アジア太平洋地域のビジネス界代表はサンフランシスコで会議を開き、我々の時代の差し迫った課題を克服するために協力する必要性を強調した。

「2023 年の ABAC のテーマは、『公平 (EQUITY)、持続可能性 (SUSTAINABILITY)、機会 (OPPORTUNITY)』であり、今年を締めくくるにあたり、まさに時宜にかなったものとなっている」と、APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC: APEC Business Advisory Council) の議長であるイースト・ウエスト・バンクのドミニク・ング氏は述べた。

「世界情勢は途方もなく混乱し続けている。立ち止まることは後退を意味し、ビジネス界がレジリエンスを高め、地域社会の生活水準を向上させ、持続可能な未来の構築に取り組むことが、ますます重要になっている」と彼は付け加えた。

議長は、相互に結びついた現代経済や現在の課題のグローバルな意味合いにおいては、緊密な協力が不可欠であると説明した。「われわれは今週後半に APEC 首脳と対話する。われわれの主たるメッセージは、ますます分断化され、細分化された不安定な事業環境は、協力することによってのみ乗り切ることができるということである。」

議長は、ABAC の具体的な提言を強調し、アジア太平洋自由貿易圏 (FTAAP: Free Trade Area of the Asia-Pacific) や世界貿易機関 (WTO: World Trade Organization) のグローバルなルールの仕組みなどを通じて、ABAC はよりシームレスで開かれた市場、貿易、デジタルトランスフォーメーションを引き続き推進していくと述べた。「また、ペーパーレス貿易のような実務上の課題についても、具体的な進展が見られることを望んでいる。」

同時に、中小企業、女性、先住民族の起業家が取り残されるべきではない。「われわれは、サプライチェーン強靱化のためのツールキット、中小企業が持続可能なサプライチェーンを構築できるようにするための ESG 枠組み、信頼を構築するためのサイバーセキュリティ・ツールキットなど、実践的な取り組みを打ち出した」と彼は述べた。

また、ABAC は、人工知能（AI：Artificial Intelligence）と気候変動対応という 2 つの大きな課題に関する単独のステートメントを発表し、経済成長が公平性、包摂性、環境に対する責任と整合する世界を形成し、この地域のダイナミックな潜在力を活用して、イノベーションと持続可能な成長の新たな波をもたらし、生活を支え、最も差し迫った課題のいくつかに献身的に対処することを強調している。

「生成 AI は根本的な変革の可能性を秘めている。われわれは AI に対して前向きなビジョンがあるべきと考える。われわれはその利点を活用したいと考えているが、責任ある包括的なアプローチのために適切に設計されたガードレールを組み合わせたアプローチを可能にすることで、そのリスクを軽減する必要もある」とング氏は述べた。「われわれのステートメントには、これに関するいくつかの重要なアイデアと、複数年にわたる作業計画へのコミットメントが含まれている」と述べた。

国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議（COP28）に関する声明の中で、ABAC はドバイで開催される国連気候変動会議における APEC の協力を促した。「ABAC の削減・緩和、適応、公正な移行に関する気候変動対策リーダーシップ原則は、資金調達、気候変動に配慮した貿易、最も脆弱な人々の保護など、必要とされる緊急の実践的行動を形作るのに役立つ」と議長は述べた。「APEC 参加国・地域は、COP28 において、われわれの人々、われわれの繁栄、そしてわれわれの地球のために、共にこれに取り組まなければならない。」ABAC 委員は、11 月 14 日に ABAC アメリカが主催する初の持続可能な未来フォーラム（Sustainable Future Forum）で、これらの問題についてさらに議論することを期待している。

米国のジャネット・イエレン財務長官が主催した APEC 財務大臣と ABAC 委員との対話でも気候変動が議題となった。「資金調達は、低炭素経済への移行における重要な手段であり、民間セクターが重要なパートナーとなり得るものである。巨額の投資が必要となるが、それでも他の選択肢よりは安く済む」と議長は述べた。

また、ABAC は東南アジアの ASEAN ビジネス諮問委員会（ASEAN-BAC）とデジタル経済の課題に取り組むための新たな協定の下、地域のアイデア・ラボとしての役割も果たしている。

会議の最後に、ング氏は、来年 ABAC を率いる ABAC ペルーのジュリア・トレブランカ氏に議長職を移譲した。次期議長は、ABAC は 2024 年に「人（People）、ビジネス（Business）、繁栄（Prosperity）」に焦点を当てると述べた。

トレブランカ氏は「今年の成果を足掛かりに、デジタル化とイノベーション、金融と投資を強力に活用しながら、地域経済統合、持続可能性、人材育成を促進したい」と締め括った。

以上

<2023年第4回 ABAC（サンフランシスコ）会議の様子>



キャサリン・タイ米国通商代表（中央）と ABAC 委員・代理委員の集合写真  
【写真提供元：ABAC 国際事務局】



オープニング・プレナリーに出席する ABAC 日本委員（左から、中曾委員、國分委員、鈴木委員）



最終日 11月13日（月）クロージング・プレナリーの様子  
【写真提供元：ABAC 国際事務局】